

第2回(仮称)草津市立プール整備基本計画検討懇話会 会議録

■日時：

平成30年5月11日(金) 10時～11時30分

■場所：

草津市役所 2階特大会議室

■出席委員：

伊勢坊委員、岡本委員(会長)、小川委員、嘉悦委員、小林委員(副会長)、阪下委員、澤委員、杉江委員、中野委員、馬場委員、松村委員、村井委員、山本雅啓委員、山本容子委員、横山委員

■欠席委員：

なし

■事務局：

草津市建設部 吉川部長、寺田副部長

プール整備事業推進室

生田室長、河合参事、島川係長、力石専門員、三田村副係長、
北中参与、中井主査

(オブザーバー)

滋賀県県民生活部スポーツ局 辻副局長、矢野主任主事

(基本計画策定業務受託者)

株式会社 梓設計関西支社 土生氏、中川氏

■傍聴者：

8名

1. 開会

○草津市建設部吉川部長 挨拶

2. 委員の就任および自己紹介について(新年度体制)(資料1)

○新任委員の就任について

3. 協議

(1) 第1回懇話会の主な意見と市の考え方について(資料2、資料3)

○事務局

<資料2、3について説明>

●委員から特に意見なし

(2) 周辺土地利用計画の状況について(資料4)

(3) 先催地のプール施設の事例について(資料5、資料6)

○事務局

<資料4～6について説明>

●委員

- ・プールの駐車場スペースについて、今の段階ではどの程度の規模でお考えか。
- ・障害のある方の優先駐車場は検討しているのか。

○事務局

- ・駐車場について、現在検討中であるが、周辺の駐車場やイベント開催状況を含めて規模を決定する予定である。

●会長

- ・国体先催地のプール施設の事例について、金沢プールと長岡プール(ダイエープロビスフェニックスプール)で大きな違いは水深のところである。

●委員

- ・長岡は完全な総合プールであり、国際大会にも対応できる。水深は3mあり、アーティスティックスイミングの開催も可能。金沢は水深2mで、競泳は対応できるが、アーティスティックスイミングについては対応できない。
- ・プールの数について、金沢はプール数が3つであるため、飛込プールは可動床ではない。プール数を2つで考える場合、飛込プールは可動床にすることで一般用でも使えるようにしていただきたい。
- ・今後、競泳でも水深は3mが求められるようになると思う。また、アーティスティックスイミングについては、水深3mの範囲が12m×12mあれば大会開催は可能。このようなことも考慮してほしい。

●委員

- ・国体開催後の需要を考えたプールにしてほしい。高齢者や子どもに喜んでもらえる

ようなプールを期待する。

●委員

- ・金沢プールでは、障害者の大会も開かれている。金沢プールは介助者も障害のある方にも配慮した更衣室があり使いやすい。
- ・大会時は、車いすの方もたくさん来られるので、車いすを置く場所、十分な着替スペースを確保した更衣室を設けてほしい。そのような施設になれば、障害者の大会も誘致しやすいと思う。

●委員

- ・現在勤務している市民プールでは、スイミングスクール等により子どもの利用が多いことから、子ども用、大人用のロッカーを分けることなどを考えていただきたい。

●会長

- ・更衣室について、今回紹介された施設は、障害のある方やジュニアの方々に対して非常に丁寧に作られている。今回の施設整備の考え方を教えていただきたい。

○事務局（基本計画策定業務受託者）

- ・金沢プール、長岡プール、秋葉山プール（秋葉山公園県民水泳場）は、障害のある方の利用も考慮した施設として、多目的更衣室を整備している。金沢プールは、複数の方が利用される場合や、障害のある方と介助の方が異性の場合でも利用できることなどを考慮して設計をしている。今回も施設整備の工夫の中で対応することができると思う。

●委員

- ・プールの水温について、競技者としては27℃～29℃の間が最も泳ぎやすいが、一般利用者にとっては、その水温ではすごく寒い。一般利用を考えると30℃～32℃の水温とする必要がある。他府県には一般利用時も低い水温になっているプールがあり、使いづらいとの声もあるので、温度調節可能であればありがたい。

○事務局

- ・競泳公認プールは、水温25℃以上28℃以下という基準がある。一般利用を考え、採暖室やジャグジーを設けている事例もある。

○事務局（基本計画策定業務受託者）

- ・設計上は温度調節可能となっているので、運営者側で調整をしているというのが実

態である。利用者の声を聴きながら、各プールに温度調節をするなど運営側の方で工夫することは可能である。

●委員

- ・プールが複数ある場合はそれぞれ競技用と一般用で異なる水温で運用している事例もある。
- ・競泳の競技会において、ジャグジーや採暖室を使うことはないが、飛込競技においては、基準により必要になっている。

●会長

- ・競技用プールについては、控えスペースなどの確保も考慮してプールサイドが重要になってくる。

(4) 整備手法について (資料7)

○事務局

<資料7について説明>

●会長

- ・他事例ではどのような方式を採用しているのか。

●オブザーバー (滋賀県)

- ・県立体育館はPFI方式で進めている。一方で、彦根陸上競技場は従来方式で進めており、県が直接発注して建設を進めていく予定である。

●会長

- ・滋賀国体に向けて、県内では新県立体育館のPFI方式と彦根陸上競技場の従来方式、2つの手法が使われているが、市民の意見が入りやすいのかどちらか。

○事務局

- ・従来方式の場合、行政側が全て仕様を決定するため、行政が知り得る情報の中で、仕様を発注していくことになる。民間活力活用方式の場合、仕様は民間に任せるため、最新の手法等を取り入れやすい。一方で、手続きについては、PFI方式では法定の手続きを踏んでいく必要があるため、スケジュールが長期化することが考えられる。

●委員

- ・各方式にそれぞれ短所と長所はあると思う。P F I 方式やD B O方式では、運営方法まで業者との打ち合わせできるため、より使いやすいもの、より管理しやすいものになるというメリットがある。ただし、業者が設計、施工、オペレーションまで担うことから監視機能が働きにくいため、完成した建物がチープなものになる可能性が高い。滋賀県ではP F I 方式の前例があるが、ある建物の事例ではチープな印象である。
- ・せっかく新しいプールが草津市にできるのだから、地元業者の参入を考えていく必要もある。

●委員

- ・彦根に建設されるスタジアムについては従来方式で、設計段階から県や設計業者と打合せをしたり、設計業者が手掛けた競技場に出向いて車いすで走行してみたり、トイレを見せていただいたりと、直接的にご意見を聞いていただけたという感想である。新県立体育館整備事業のP F I 方式でも会議には出席させていただき、障害のある方のご意見を聞いていただいた。
- ・バリアフリーの視点から、法律で決められている数値をそのまま守られてるから使いやすい施設とは限らない。どの方式になったとしても、直接ご意見を聞いていただける機会があればいいなと思う。

●委員

- ・整備手法については難しいところであるが、資金調達や事例を見極めて手法を決定していただきたい。

●委員

- ・仕様発注、性能発注が例示されているが、両方の視点が必要だと思う。

●会長

- ・例えば地域の団体がプールでプログラムをやりたいと申し出たときに、P F I 方式では今まで通り、安く、自由に使わしていただけるのか気になる。このあたりも考えていただきたい。

●委員

- ・従来、D B O、D B、P F I の4つの方式の工期、建設費を教えてください。

P F I の場合、工期的に厳しいと思われるため、もし県が P F I を推奨される場合、県の協力がないと難しいと思う。民間のノウハウを活かすためには民間活力の導入が重要なので、D B O か D B がよいのではないかと考える。ただし、運営まで含めるのが困難であれば、D B という選択がよいのではないか。また、どの方式になっても地元企業は参入できる余地がある。

(5) 意見交換

●委員

- ・自分の健康のために、わざわざお金を出してプールに行っておられるという方もいるが、なかなかそうでない人も多い。道具を使った運動や歩くことは皆さん意識してやっている。今後プールについても具体化していくと、皆さんに関心を持っていただけたらと思う。

●委員

- ・プールは着替えないといけないというのがハードルだが、プールができれば行こうという意識は皆さんあると思う。是非、国体開催後も市民の方が楽しんでいただけるようなプールを設計していただきたい。

●委員

- ・紹介された4つのプールは、すべて利用したことがある。三重県にあるスポーツの杜鈴鹿の水泳場は、片面しか観客席がなかったが、国体のために両面観客席を整備される。
- ・世界マスターズ水泳大会の第1回目が東京の代々木であり、その時の参加者に比べると現在は参加者も増えている。草津市にプールができれば、世界マスターズ開催の機会も作っていただきたい。

●委員

- ・予算があれば各専用のものをすべて作れば良いが、それはできないと思うので、うまく各々妥協をしながら設計を考えていただきたい。プールの建設後には、競技大会と一般利用がバッティングする部分が必ず出てくるので、どのように運用していくかもしっかり考えていくことが重要。

6. 閉会

○草津市プール整備事業推進室 生田室長 挨拶

以上